

きちんと分別。

地域のルールを
守りましょう。

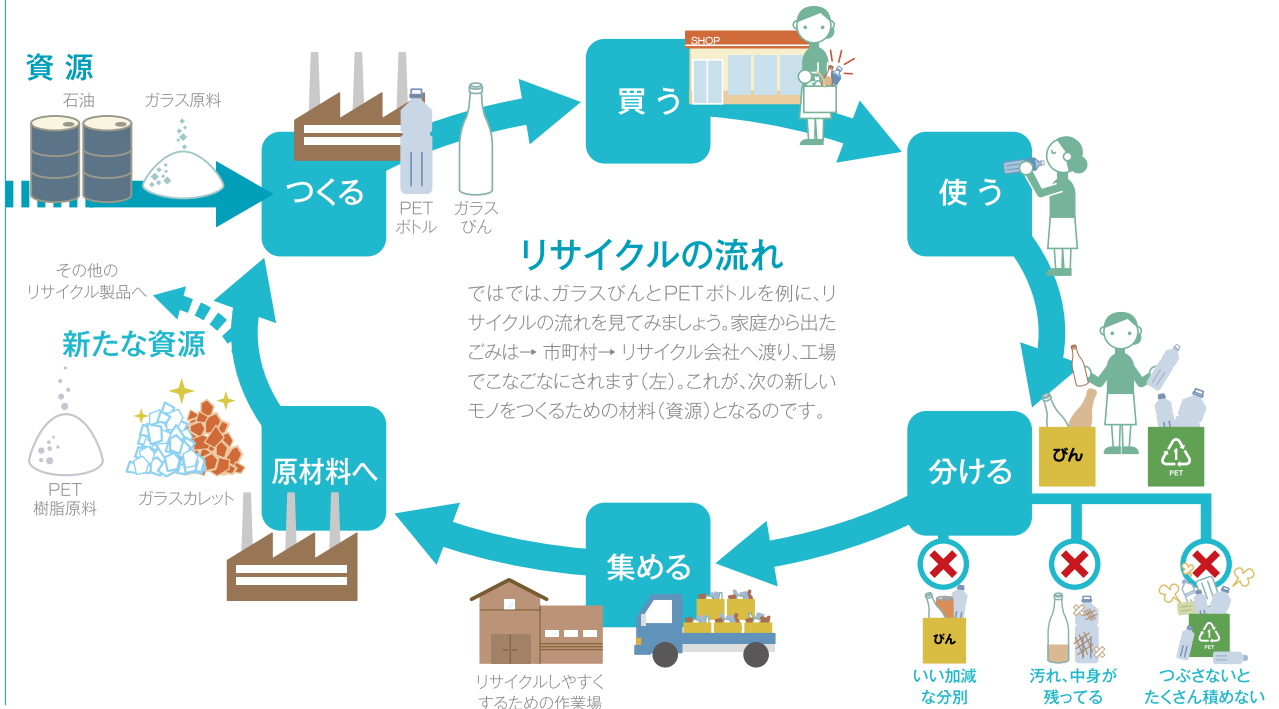
キレイに洗って
中身も残さず
お願いします。



回収後のゆくえ。

ごみの回収車が行き着いたのは、街の作業場。ここではまず、リサイクルできないものを取り除いたり、きれいに洗い直したり、つぶしてコンパクトにしたり、という仕事が行われます。

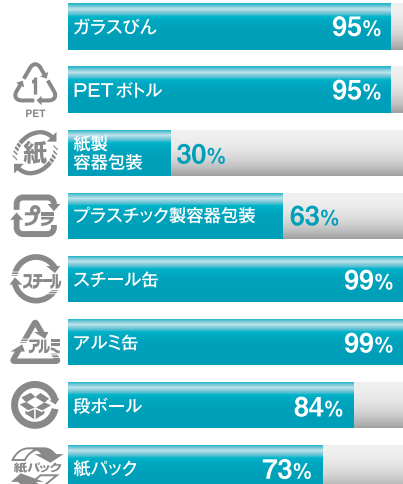
なぜか? といえば、集めたごみを、リサイクルを仕事とする会社に引き渡すためなんです。ガラスびん、PETボトル……それぞれを担当するリサイクル会社の工場で砕(くだ)いたり溶(と)かしたりして、また新しいものをつくるための「原材料」へと生まれ変わらせます。でも、回収したごみに汚れや異物が混じていると、品質の良い「原材料」をつくることができません。そこで、家庭でサッと洗って、きちんと分別すること(みなさんの協力)が、ぜひ必要になってくるのです。



あなたの街でも、分別収集

分別収集を行っている市町村は、もうこんなにたくさん。なかには実施率100%目前! という品目も。

●分別収集を実施している市町村(品目別の%)



出典:全市町村数に対する実施率(平成17年度:環境省)

あなたの街のルールは?

ごみの分け方・出し方は街によって違うことがあります。何種類かに分ければOKの街もあれば、数十種類に細かく分ける街もあって、いろいろ。あなたが住まいの街のホームページや、各家庭に配られるチラシなどでチェックしてみましょう。



「その先」は、どうなる?

ごまごまにされたガラスびんやPETボトルは→容器をつくる工場に買い取られて→新しいボトルに→ふたたび中身を詰め→お店→みなさんが買う→またまた分けて出す……という風に循環(じゅんかん:ぐるぐる回ること)していきます。



みんなで連携!

リサイクルって、とても身近なことだったんですね。私たち一人ひとりが頑張らないと、リサイクルの環(わ)がブツリと切れてしまう理由、ナツクイだけでしたか? ここでは会社もお店も、市町村も、そしてみなさんも、1つのチームなのです。

